

基礎講座ニュース

第7回 「働く保護者の理解と伝えあい」

日時 11月27日（木） 受講者 10名 考える会 2名

◎講座内容

1. 保護者の願い、学童保育の目的・役割

- ・学童保育は、「安心して働きたい」「子どもに豊かな放課後を過ごさせたい」という保護者の切実な願いから生まれたこと、子育てをしながら働く保護者を支え励ます子育て支援の場であることを忘れてはいけない。

2. 働きながらの子育て事情を理解する

- ・「毎日が精一杯」はどこの家庭も一緒だということを理解し、配慮をする。
- ・一人ひとりの生活状況や思いを解ろうとする姿勢と努力が求められる。孤立した「孤育て」ではなく、「共育て」の姿勢を心がけること。

3. 保護者に伝えるための方法や工夫

- ・伝えあいは「信頼関係を築くため」「子ども理解のため」。子どもの具体的な様子を“ていねいに”伝えることで働きながらの子育てを支える。

4. 保護者が安心して我が子を学童に託せるために、親との信頼を積み重ねる

- ・まずは、保護者、指導員それぞれに時間やゆとりがないということを必ず念頭に置く。
「偏見をもたない」を意識し、「伝えあう雰囲気」を一緒に育てていく。

◎受講者からの振り返りシート・感想より（一部抜粋）

- ・子どもの思い、理由等具体的に様子を丁寧に保護者の方にお伝えする事の大切さを実感しています。
- ・すごく小さなことでもすべて伝えて、お互いが何でも話して相談・共有できるような関係性を少しでも多くの保護者とできるように努めたいと思いました。
- ・学童に入所していないとなかなか起こらないことなどを保護者の方に伝えられたらいいなと思いました。指導員として、子どもだけでなく保護者の方の相談相手になりたいなと思いました。